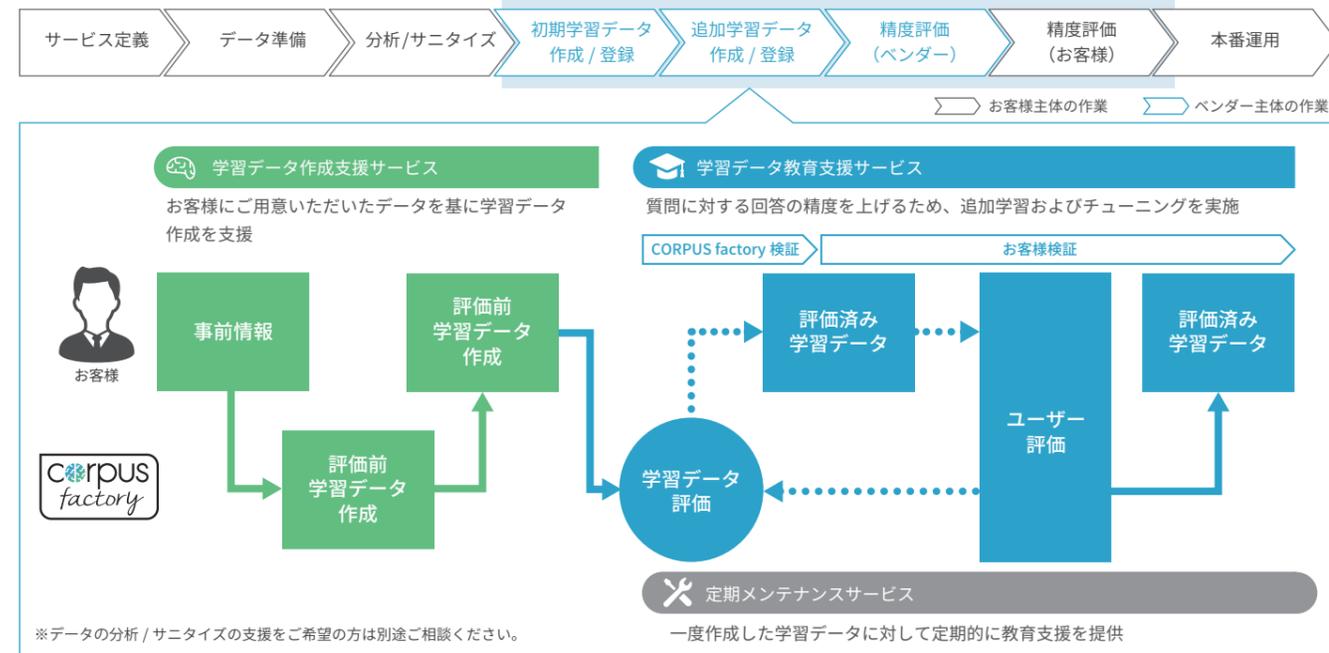


CORPUS factory では、お客様から頂いた情報を基に学習データの作成 / 登録からお客様側での精度評価までを支援します。



■対象の IBM Watson API と提供メニュー

IBM Watson API	学習データ作成支援サービス	学習データ教育支援サービス
Natural Language Classifier 自然言語テキストの背後にある意図を解釈し、関連度合いを信頼度レベル付けして分類	35万円～ お客様にご用意いただいた QA データを基に学習データを作成します。	50万円～ 全回答項目に対する評価および精度向上を実施します。1つの回答につき5件の評価用質問を作成、回答精度の評価結果をレポート。
Assistant エンド・ユーザーとの会話フローを自動化	45万円～ お客様にご用意いただいた QA データを基にインテント・エンティティ・ダイアログを作成。	55万円～ 全回答項目に対する評価および精度向上を実施。1つの回答につき5件の評価用質問を作成、回答精度の評価結果をレポート。
Speech to Text ディープ・ラーニングを活用して、音声からテキストを書き起こす	個別見積もり 既存の音声データを基に書き起こしを実施し、辞書および学習データの登録を代行。	個別見積もり 音声認識精度向上を目的に、評価および精度向上対応を実施。一定の評価基準を定義し、音声認識精度の評価結果をレポート。
Discovery 大量のデータを検索するとともに、適切な意思決定を支援	個別見積もり お客様にご用意いただいたドキュメント文書 (Word/Excel/html などのテキストデータ) を登録データ形式に変換し、検索機能の利用するための学習データを作成。	個別見積もり 検索結果の評価・フィードバックをしていただくことを前提に、検索結果の関連性 / 優先度の重み付け学習を実施。
Visual Recognition ディープ・ラーニングを使用して、画像に写った物体・情景・顔などさまざまなものを分析・認識	—	個別見積もり お客様に画像と分類のデータをご用意いただけます。評価用の画像に対して回答精度の評価結果をレポート。

※学習データ精度向上は、サービスの仕様上ご要望の精度に満たない場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。 ※定期メンテナンスサービスの費用については、別途お問い合わせください。

sandi AI エス・アンド・アイ株式会社
<http://sandi.jp/sandiai>

東京都中央区日本橋箱崎町30-1 タマビル日本橋箱崎 〒103-8507
 Tel. 03-5623-7353 Fax. 03-5623-7887 info@sandi.co.jp

IBM Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。記載された内容は 2018 年 6 月時点での情報に基づきます。内容は予告なく変更することがあります。

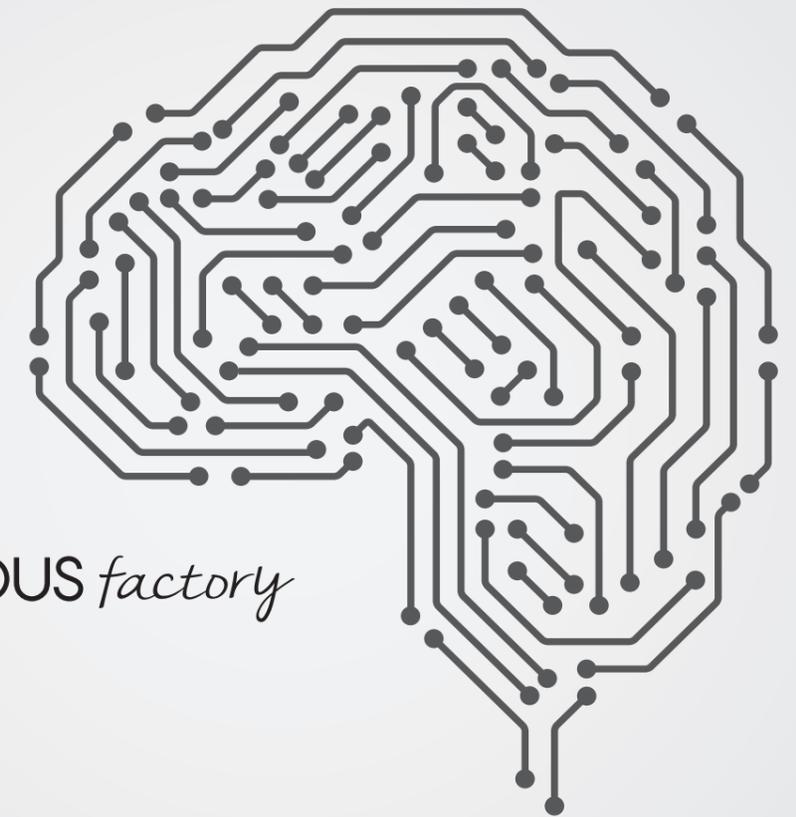
AI 活用のカギは、高品質な学習データにあり！

学習データ支援サービス

基となるデータがない場合に、作成を代行！

学習データの作成 / 精度向上をプロが支援！

運用・メンテナンスもサポート



corp^us factory

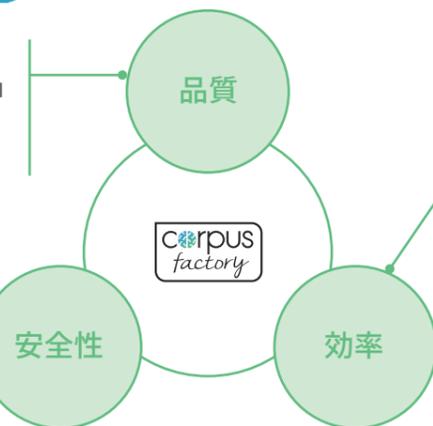
IBM Watson® を活用するための学習データを効率的に作成！

学習データ支援サービスは、IBM Watson を活用するための学習データの作成 / 精度向上を、ノウハウ / ナレッジに長けた技術者（CORPUS factory）がサポートするサービスです。お客様が保有されている QA リストやマニュアルなどのドキュメント、コールログなどから、お客様の業務に合わせた学習データ作成を支援します。

about CORPUS factory

学習データに対するノウハウ / ナレッジを体系化 / 共有化し、専門組織として運営。専門チームが、AI の導入効果を最大限引き伸ばすために、学習データの作成 / 精度向上をサポートします。

お預かりする情報を組織内に集約するとともに、特定の場所で作業。安心してお任せいただけます。



一人ひとりがスキルを持つプロたちを、“組織化”することで、チームとしての生産性を最大化。品質を担保しながら、ボリューム作業への対応を可能にします。

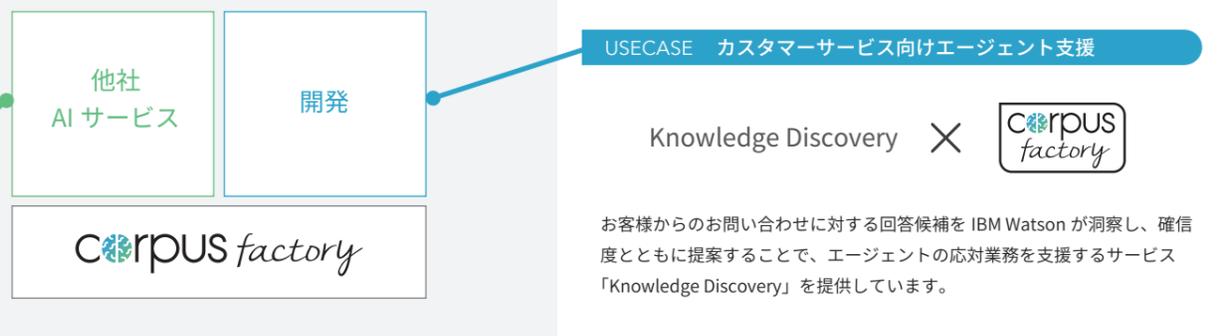


作成実績 **5,000** 件以上！さまざまな業界の学習データ作成の実績があります。



AI システムの開発 / 他社の AI サービスとの連携も可能！

CORPUS factory では、AI システムの開発はもちろん、IBM Watson を活用した他社の AI サービスの学習データ作成も支援しています。



USECASE AI チャットボット「hitTO」× CORPUS factory



ユーザーと自然な対話が可能で、IBM Watson を活用した法人向けチャットボットサービス「hitTO」のオプションメニューとして、学習データの作成 / 精度向上を提供しています。

USECASE AI ロボット「ZUKKU」× CORPUS factory



手のひらサイズのフクロウ型マーケティング支援 AI ロボット「ZUKKU」と IBM Watson の連携および利用シーンに応じた学習データの作成をワンストップで提供しています。

システム開発および、パートナー協業についてもお気軽にご相談ください！

学習データに関するあらゆる課題を解決！

AI 導入検討 / 導入時の課題		AI 導入後の課題	
学習データの基になるデータがある	大量データからの抽出が難しい	クロール機能 / 自然言語解析で効率的に分析	アセスメントサービス WEX で効率的にデータを評価 非構造化データを含む大量のデータを効率的に解析できる WEX (IBM Watson Explorer) を利用して、お客様保有のデータを学習データとして利用できるか、どのような業務で活用できるのかご提案します。
	何が重要なデータか判断できない	データ間の相関値から関係性を把握	
	データから利用シーンを見つけたい	文章の解析により、傾向を把握	
学習データの基になるデータがない	学習データの作成が難しい	プロが作成をサポート	学習データ作成支援サービス 専門の技術者が効率的に作成 スタート時に必要な学習データを業務に合わせて効率的かつスピーディーに準備できます。
	短期間で効率的に学習データを作りたい		
適切な回答が得られない		プロが精度向上をサポート	学習データ教育支援サービス プロの目線で精度向上を支援 チューニングすべき点や追加すべき回答などをご提案。応対品質にもつながる AI の回答精度を効率的に向上させます。
思うように回答精度が上がらない			
質問や回答の追加など日々の運用が大変		プロが定期的に精度向上をサポート	定期メンテナンスサービス 運用負担を軽減 学習データは一度作成したら終わりではありません。日々の運用を通じて見てくる回答精度の見直しを定期的にサポートします。

CORPUS factory の工場長が語る、AI を活用する上での学習データの重要性

“AI” と聞くと、必要な情報を自動で収集し、勝手に賢くなるかのようなイメージを持たれている方も多いのですが、IBM Watson (以下、Watson) を使うためには、まず人の手で Watson にデータを与え、学習させることが必要です。AI の潜在的な能力がどんなに高くても、効果的なデータで学習させなければ、本来の価値を發揮できません。CORPUS factory では、AI を活用するためには、「効果的な学習データの構築」こそが、もっとも重要な要素だと考えます。

Watson における学習データとは、それぞれの業種に特化した専門知識や蓄積されたナレッジのことを指します。言い換えれば、「専門家の知識を AI に教える」ようなもので、それらは、業務を熟知した人の頭の中であつたり、対応履歴やコールログであつたりと、実際の運用から得られる生データに含まれています。そして、必要なデータをそろえ、効果的に Watson に学習をさせるためには、AI を扱う人にも、そのスキルや知識が求められます。そのため、いざ学習データを作ろうとすると、大量のデータの中から価値のあるデータを判断するのが

難しい、その業務を熟知している識者は忙しく、データ作成に時間がかかってしまう、という課題がついて回り、戸惑いや負担を感じる方も少なくありません。

CORPUS factory が提供するものは、Watson を活用するための学習データ構築支援です。第三者がお客様に代わって「専門家の知識を AI に教える」ことは、本来の在るべき姿とは異なるように思えますが、我々は、効率よく Watson の学習データを作成し、さまざまな形で熟練させるためのノウハウと、継続的に学習データを運用していくためのプロセスを熟知しています。その業種の専門知識を持つ専門家ではありませんが、効果的に Watson に学習をさせる専門家です。初期導入の前に挫折したり、苦勞して用意した学習データの精度が悪く「使い物にならない・・・」といったことにならないよう、効率よく確実に AI の導入を進めていただくために、学習データ構築をサポートすること、それが CORPUS factory のコンセプトです。

そして、CORPUS Factory のもう一つのコンセプトは、“Watson が使われている” あらゆる製品、ソリューションの学習データ構築をサポートすること。仕様や利用環境は問いません。チャットボットやオペレータ支援、企業様独自の AI システムなど、AI を活用するシーンはさまざまですが、裏側で Watson が使われていれば、製品やソリューションを問わず、その AI システムが本来の実力を發揮できるよう、学習データの構築をサポートします。AI がお客様にとって身近な存在になれるよう、学習データの専門組織として運営することで、ノウハウを蓄積し、多様なサービス、ボリューム作業にも対応できることが、CORPUS factory が、“factory” である所以です。

これから AI 導入を検討される時、AI 導入後に学習データの精度に悩まれているとき、学習データに関するあらゆる課題を解決するために CORPUS factory の学習データ支援サービスをご活用いただければ幸いです。